

学部長 (専攻長) あいさつ

理学部長 総合科学技術研究科理学専攻長 田中 直樹



皆さんは、数学、物理、化学、生物、地学の少なくとも一つがとても好きで、内容に深く興味を持っていることでしょう。皆さんのその「好き」は、何がそうさせているのでしょうか。難しい問題が解けたときの達成感、その時についた自信、実験で思いもよらない結果が得られたときの驚き、全く思いもつかなかった解決策を知り得たときの爽快感などではないでしょうか。そのような体験は、新しいことに挑戦することでこそ得られるものです。その姿勢を大事にしてほしいと思います。

そんなあなたの好きな科目の中には、まだ明らかになっていないものが多くあります。理学部では、高等学校で習い、そうなるものとして学んだ事柄の背景や理由を学べますし、それらを基礎として、未だ発見されていない部分を明らかにする研究に取り組むこともできます。これが理学部での教育研究の醍醐味と言っても良いでしょう。そして、従来の研究、理論を発展させることができたときの充実感は、一言では言い表せないものです。もちろん、基礎研究に関する結果は簡単に出せるものではありませんが、あなたの好奇心は、きっと真理の解明を進めるうえで大きな力になるでしょう。また、もしかしたら、あなたの「好き」から生まれた発見が、将来、書物を通じて、誰かの「好き」を生み出すことになるかもしれないですね。

皆さんの中には、自分の好きなことが実際に役に立つことは、非常に珍しく、将来のキャリア形成に心配を感じる人もいることでしょう。しかし、理学部では、物事の本質を探究することを通じて、時代の急激な流れにも対応できる能力、普遍的な考え方、最新の知識を身につけられます。それらがきっとあなたの強みとなるはずです。特に、最終学年では修学の集大成として少人数編成のゼミがあります。そこで探究姿勢を養い、基礎理論をしっかり学んだ先輩たちは、社会人として他の分野の人たちとタッグを組みプロジェクトを遂行する中で、重要な役割を果たしています。

皆さんの知識と好奇心を、理学部での教育研究活動により膨らませ、将来に活かしませんか。本学部には、数学科、物理学科、化学科、生物科学科、地球科学科の5学科があります。さらに、グローバルな人材を育成するための教育プログラムとして創造理学コースを、放射科学を教育研究するための施設として放射科学教育研究推進センターを設けています。本案内で紹介する教員の教育研究の中に、皆さんにとって心躍るものが見つかることを願っています。

理学部の沿革と概要

静岡大学理学部は、1949年の学制改革により発足した静岡大学の文理学部・理科(後の理学科)をその源にしています。理学部は1965年に文理学部の改組によって誕生しました。以来、ますます充実・発展し、その後、1975年に地球科学科が誕生し、1976年には理学研究科(大学院修士課程)が新設されました。1996年には、教育課程の改善とレベルの高い研究を推進するために、学科と博士課程を備えた大学院(理工学研究科)の再編成を行いました。この間10,000名を超える理学部卒業生並びに大学院修了生を研究者・技術者・教育者などの有能な人材として各界に輩出してきております。そして、2006年度より理学分野のより高度な教育と研究を推進するために、学科と大学院の再編成を行いました。

2006年度から理学部は5学科になり、また2015年度には静岡大学の理系修士課程を統合した総合科学技術研究科を、2016年度には創造理学(グローバル人材育成)コースを設置しました。このように理学部では、附属センターとともに、自然科学の広い分野の教育と研究を行っています。理学部各学科および大学院の詳しい説明については4～41ページおよび45ページをご覧ください。

理学部の学科の講座名(カッコ内は募集人員)

数学科(35)	基礎数理、数理解析
物理学科(45)	基礎物理学、物性物理学
化学科(45)	構造化学、機能化学
生物科学科(45)	環境応答学、生体調節学、細胞・発生プログラム学
地球科学科(45)	地球ダイナミクス、生物環境科学
創造理学[グローバル人材育成]コース(20)	
放射科学教育研究推進センター	エネルギー安全放射科学 同位体環境動態

理学部の学位授与の基本方針(ディプロマ・ポリシー)

理学部は、自然の真理の解明に情熱を傾け、幅広い分野における科学の進展と応用を目指して研究を進めることで人類の幸せに寄与することを理念とする。この理念に基づき当学部は、理学の各専門分野において確かな基礎学力を有すると同時に、幅広い教養を身につけた研究者・技術者・教育者などとして社会に貢献できる人材の育成を目的として教育を行う。この理念と目的に沿って設定された授業科目を履修し、必要単位数を取得することによって、下記に示す品格と能力を身につけたものに学士(理学)の学位を授与する。

1. 幅広い教養と複眼的視野、および健全な批判精神と倫理観を備えている。
2. 理学の各分野における確かな基礎学力と論理的思考力を有し、専門的な立場から現代社会の諸問題の解決に積極的に取り組むことができる。
3. コミュニケーション能力と国際感覚を持ち、グローバルな観点から行動できる。



理学部の教育課程編成・実施の方針(カリキュラム・ポリシー)

理学部の学位授与の基本方針(ディプロマ・ポリシー)に基づいて、理学部学生が体系的かつ主体的に学習できるよう履修プログラムを編成する。このプログラムでは以下の項目が達成されるよう、学科ごとの方針に応じて設定された講義、演習、実験、実習、フィールドワーク、あるいは卒業研究を実施する。

1. 教養科目等を学ぶことにより、幅広い教養と国際感覚を養う。
2. 理系基礎科目等を学ぶことにより、理学における基礎知識を分野横断的に身につける。
3. 理系専門科目等を学ぶことにより、各専門分野における高度な知識や思考力、実験法、技術等を修得する。
4. 卒業研究を通じて、新たな課題を主体的に見出し、それを知識や思考力、技術を活用して探求し解決する能力を涵養するとともに、協調性や倫理観、コミュニケーション能力、表現力を身につける。
5. 資格科目等を学ぶことにより、教員や学芸員などの資格を取得する。

理学部の教育

静岡大学理学部の教育は専門教育と教養教育により国際感覚が豊かで、向上心を持つ人材の育成を目指しています。専門教育は、学年進行に合わせて体系的に修得できるように配置されています。教養教育は総合大学としての長所を生かしたカリキュラムとなっています。専門教育は1年次から教養教育とともに始まり、選択の幅を広げ、学生の個性と自主性が重んじられるよう配慮されています。

教育課程

理学部の教育課程には、専門科目と教養科目があります。

専門科目には、各学科に分かれて専修する科目と理系基礎科目があります。教養科目は、基軸教育科目と現代教養科目の2つの科目群から選択します。

授業科目は、必修科目、選択科目、自由科目に分類されています。卒業に必要な単位の基準は、必修科目、選択科目、自由科目から合計124単位です。

専門科目

各学科の専門科目のカリキュラムの概要は、学科紹介のページに説明されています。主として1-2年次に履修する理系基礎科目は、各学科の専門科目を支える科目群です。高等学校の数学・理科分野の科目とのつながりに配慮し、高等学校で修得しなかった科目は、初歩から導入することで専門科目を学ぶ上で必要な基礎を身につけることができます。

教養科目

基軸教育科目：在学中あるいは卒業後にも必須となる基本技能・素養・実践力・国際感覚を身につけるための科目群です。新入生セミナー、情報処理、英語、初修外国語などの科目があります。

現代教養科目：教養、問題発見・解決能力・視野の広さ・思考の柔軟性・高い問題意識などを身につけるための科目です。

教職等資格科目

高等学校教諭一種免許状および中学校教諭一種免許状を取得するための課程が用意されています。また、学芸員になるために必要な科目も設けられています。

